

平成 28 年産 紀南の梅産地情報

16/04/07

1. 今年の梅の開花は1月末から2月にかけて気温が上り、主力の南高の満開は2月12日と平年よりやや早くなったが、開花期間は23日と平年並みとなった。例年に比べ海岸線と山間地の開花の差は小さいものの、品種・園地による開花のバラツキが大きくなった。現在の実肥りは、前年より8日程度、平年より6日程度早くなっている。



2. 4月5日の定点着果調査では、小梅の着果数は前年並みで、平年よりやや多かった。古城の着果数は前年より多く、平年並みであった。主力の南高の着果数は前年並みで、平年よりやや少なかった。但し、各品種とも園地間・樹体間による着果のバラツキが見られた。また、3月27日に田辺市北部の広い地域や白浜町の一部地域において、前線の通過に伴う降雹があり、傷果が発生している。

定点調査の着果数（枝径2 $\frac{1}{2}$ の枝当たり）と着果率

| 品 種 | 平年 (H18~27) | | 平成 27 年 | | 平成 28 年 | | | |
|-----|-------------|-----|---------|-----|---------|-----|------|------|
| | 着果率 | 着果数 | 着果率 | 着果数 | 着果率 | 着果数 | 平年比 | 前年比 |
| 小 梅 | 33.2% | 129 | 36.6% | 139 | 41.4% | 144 | 112% | 104% |
| 古 城 | 9.6% | 34 | 5.7% | 19 | 8.7% | 31 | 90% | 161% |
| 南 高 | 14.6% | 51 | 13.5% | 48 | 15.9% | 45 | 88% | 93% |
| 在来系 | 14.5% | 44 | 11.6% | 27 | 14.0% | 65 | 150% | 239% |

3. 今年産の作柄は、生理落果や果実肥大期の気象条件等に左右されるため、現時点で具体的な数量予測はできない。生産見込量取りまとめの第一報は、今月中旬に予定している。
4. 結実後の気温は、3月に入り平年よりやや高く推移している。降水量は3月上中旬では平年に比べ多くなったが、下旬では少なくなった。

| 月 旬 | 平均気温 ℃ | | | | 降水量 mm | | | |
|------|--------|------|------|------|--------|------|-------|------|
| | 平年 | 26年 | 27年 | 28年 | 平年 | 26年 | 27年 | 28年 |
| 3月上旬 | 8.1 | 7.6 | 8.9 | 11.9 | 35.8 | 48.0 | 139.0 | 61.5 |
| 3月中旬 | 9.6 | 11.4 | 11.8 | 11.0 | 43.2 | 30.0 | 51.0 | 76.0 |
| 3月下旬 | 10.8 | 13.4 | 11.9 | 11.5 | 46.9 | 57.5 | 11.0 | 7.5 |

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）

5. 本年は12年に一度の申年。古来より申年の梅は「縁起が良い」と言われ重宝されている。